

平成24年度 事務事業評価シート

※平成23年度に実施した事業を評価しています

事務事業名称	相談体制充実事業				継続					
コード	21	-	23	-	01	-	02	予算事業名	男女共同参画推進	
担当部署	市民部	男女共同参画課		男女共同参画担当		予算事業コード	会計 10	款 02	項 01	目 17

1. 事業の位置付けと関連計画等

第三次川越市総合計画後期基本計画における位置付け 位置付けなしの場合 法令による実施義務 義務ではない

基本目標(章)	6章	人と人のつながりを感じ、安全で安心して暮らせるまち	根拠となる法令、条例等	川越市男女共同参画推進条例
方向性(節)	1節	ふれあいと思いやりのある地域社会の形成	個別計画等の名称	第四次川越市男女共同参画基本計画
施策	3	男女共同参画社会の実現		
細施策	1	人権の尊重と男女共同参画への意識づくり		

2. 事業の目的と概要

事業の目的 (誰・何を対象に、何のために実施するのか)	市民を対象に、DVや家庭生活等の悩みを抱える人が、相談をすることにより、身体的、精神的に健康な状態を維持し、暴力等からの被害を防止する。
事業の概要 (活動内容、実施手段・方法など)	「女性相談」は非常勤特別職の女性相談員が、様々な女性の悩みについて電話または面接にて相談を受けている。配偶者暴力相談支援センター設置後は、特にDVの相談が増加している。また、川越市女性活動支援のひろばのカウンセリングルームでは、委託をしているカウンセラーが女性からの相談を受けている。

3. 実施にかかるコストと実績

(単位:千円)

		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
予算額		1,496	1,288	2,348	3,667	2,999	
事業費	A	1,285	1,111	2,401	3,088	2,999	3,280
	B	2,220	2,220	2,220	2,220	2,220	3,700
総コスト(C=A+B)		3,505	3,331	4,621	5,308	5,219	6,980
正規職員(1年間の従事人数)		0.30人	0.30人	0.30人	0.30人	0.30人	0.50人
臨時職員(1年間の従事人数)		0.00人	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
国県支出金	D	0	0	3,000	665	665	665
その他特定財源	E	0	0	0	0	0	0
市の財政負担(=C-D-E)		3,505	3,331	1,621	4,643	4,554	6,315

※24年度、25年度の事業費、人件費は見込額
※臨時職員の給与も、人件費に含みます。

4. 成果指標・活動指標による分析

成果	中心指標	単位	20年度	21年度	22年度	23年度	指標の定義
成果	「女性相談」相談件数	件	0	100	256	341	H23は、配偶者暴力相談支援センター相談件数含む
成果	「カウンセリングルーム」相談率	%	75.8	67.2	46.2	50.0	相談件数/相談枠数

中心指標の考え方	本事業は成果指標を中心に評価する。
指標に基づく評価	「女性相談」の窓口設置後、年々相談数は増えており、特にDV対策として設置した「配偶者暴力相談支援センター」には、複雑かつ深刻な相談も多く、今後も相談業務の更なる充実が必要である。

5. 事業の実施を通じた分析・評価

(1) 現在の課題と状況	有効性に課題
近年のDV被害の増加から、複雑多様化、深刻化している相談業務を、的確かつ迅速に対応するための人員配置等が早急に必要である。	
(2) 比較参考値(他市での類似事業の例など)	
(3) 事業を廃止・縮小したときの影響	多様な相談に対し、体制を強化していかなければならない状況であるため、事業の廃止・縮小は考えられない。
(4) 所属長自己評価(今後の方向性)	拡充
相談業務は、今後、更に複雑化、深刻化してくると思われるため、それに対応し得る相談員、職員体制が必要である。その中で、相談者の心情等を第一に考えた相談環境づくりも重要であると考え、ソフト面のみならず、ハード面の整備も進めたいと考える。	